

No.138
2021/2/17



OPEN オープンユニオン 岐阜大学職員組合ニュース UNION



岐阜大学職員組合発行

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1
Tel. 内線 9552 Fax 058-230-1118
E-mail: kumiai@gifu-u.ac.jp
HomePage: 岐阜大学職員組合 (検索)

職場の要望をお寄せください

～団体交渉に向けてのお願い～

早いもので、第37期の活動がスタートしてから4ヶ月ほどが経ちました。この間、例によって新型コロナウイルスのために、新年会などをはじめ人が集まる行事には取り組めておりませんが、大学執行部との団体交渉に向けた取り組みを少しずつ進めています。

団体交渉は、緊急を要する課題が生じた場合に臨時的に開かれる場合と、毎年定期的に行われるものに分かれるかと思いますが、いま準備を進めているのは後者の団体交渉です。ここでは、日常的な業務の中で生じる不備、合理的でない労働条件の改善などが議題となります。岐阜大学の労使関係では、この定期的な団体交渉が年一回ほど行われています。今回については、今度の7月後半辺りの開催を予定しています。

この定期的な団体交渉において、組合側に力を与えてくれるのは、何といたってもそれぞれの職場の当事者から寄せられる生の声です。いま中央執行委員会では、各支部の役員のみなさんをお願いして、そうした声を集めてもらっているところです。労働条件について困っている問題、理不尽に感じていることがありましたら、ぜひ支部役員の方などを通じてお寄せいただきたいと思います。

声を寄せてほしいと言われても、日々仕事に追われる中でそれすら難しいという現実もあるかと思いますが、しかしそうであればこそ、その中から発せられる声に切実さと説得力が宿るのだと思います。それなしに、四役がいくら「理論武装」しても、団体交渉で成果を勝ち取ることはかないません。是非とも声をお寄せいただけますよう、よろしく願い致します。

中央執行委員長 山本

生協の更なる利用促進を

「コロナ禍で大学生協の経営が厳しくなっている！」という報道を耳にしました。対面授業がほとんど無い関東地区等の大学では特に厳しいようです。

われらが岐阜大学生協は大丈夫なのだろうか？生協食堂が最近すいていて、快適だが売上げ的に大丈夫だろうかと思っはいましたが・・・。

生協は職員組合と同様に岐阜大学になくはない縁の下の力持ちです。そこで生協に昨今の状況をうかがい、職組組合員ができる支援を探ってみました。対応して下さったのは専務理事の高木利彰さんです。

―― コロナ禍における最近の経営状況はどうですか？

高木 前期（3-7月）は供給高（売上）も供給剰余（粗利益）も前年度比50%ほどの減少でした。幸い後期はやや持ち直すことができ、3-12月での比較では前年度比の減少幅は前期に比べ10ポイントほどは持ち直してきました。

―― 特に大きな影響を受けているのはどんな事業ですか？

高木 食堂部門です。昨年度まではここの剰余（黒字）を元にして他の事業・企画に取り組んできました。しかしその余力がなくなりました。例えば、やむなく営業時間を短縮したり、学生組合員との企画等も殆どできない状況です。

―― 生協で働く方々の雇用のことも気になりますが。

高木 雇用の維持は最優先課題として取り組んでいます。政府の雇用調整助成金の活用、他生協組合へのパート職員転籍・出向、正規職員の一時金支給減額・専務理事の報酬返納などで乗り切る覚悟です。学長と生協の定期懇談の折に、学長からも雇用を守ってほしい旨の要望がありました。

やはり岐大生協にもコロナ禍の悪影響があるようです。しかし、2022年度以降の黒字化回復を目指して新しい活動方針を策定中なようです。それまで、そしてその後も組合員の皆様の利用促進を職員組合としてもお願いします。

愛飲家の皆様には生協で供給している「岐大酒」をお勧めしましょう；中々いけます。下戸の方には「ランチではもう一品を」、「ライスは1つ上のサイズを」とお願いしましょう。また、生協店頭でのバス ayuca カードのチャージもわずかですが生協の収益になるようです。

中央書記長 宇佐美

前期役員との引継ぎの会合を持ちました

1月7日(木)18時より組合事務室にて新旧の委員長・書記長4名での引継ぎの懇談会を持ちました。

海の向こうでは某国大統領の引継ぎがもめていました。（もう済んだのかな？）我が国でも昨年、時の首相が任期途中でギブアップしてバタバタと後任が指名されていました。（後任の方、頑張ってもらいたい・・・。）もちろん、岐大職組ではスムーズに禅譲が行われ、この度の引継ぎの会合となりました。

多くのことを自由闊達に語り合いました。主なトピックは以下のようなものです：

- ・ 附属病院との交渉ではまず病院長・看護師長との連絡を密にすべきである
- ・ 附属病院の組合員の担当者を決めてはどうか

- ・労働基準法は使用者への最低レベルを規定している。団交等では魅力ある職場とすべく更なる改善を要求していこう
- ・就業規則の見直し（交通費の支給額；産休の取得可能日数）
- ・応用生物学部の将来
- ・東海国立大学機構の発足に伴い事務作業が煩雑となっているらしい。事務員の残業が増えているらしい

幾つかの案件は更に精査して団交の案件にするべきと思いました。

会が終わったのは20時ごろ。事務室の扉を開けたら戸外は一面の銀世界でびっくりするやら興奮するやら。本ニュース掲載の杉浦委員のナイスショットの1枚はまさにその次の朝のキャンパス風景です。

中央書記長 宇佐美

第37期中央役員あいさつ

◆ 中央執行副委員長 松山 勇人（応用生物学部）

このたび、中央執行委員の副委員長を拝命しました。これまで応用生物学部支部では教員職員に様々な場面で助けて頂いたおかげでここまでくることができました。この場でお礼申し上げます。いつも研究、教育、その他諸々の雑務、育児に追われているため、周りの方にご迷惑をおかけしています。それでも、何かのお役に立てることができればと考えています。長い目でご指導いただければ幸いです。組合活動に参加しながら勉強していきたいと思っています。よろしく願いいたします。

◆ 中央執行委員 杉浦 隆（工学部支部）

工学部支部中央執行委員の杉浦 隆と申します。昨年度の中央書記次長に続き、今年度は中央執行委員ということで支部と中央の橋渡し役を務めさせていただきます。コロナ禍における働き方、名古屋大学との統合などこれまで経験したことのないような環境変化が始まっているように思います。少しでも働きやすい職場になるよう協力していきたいと思っています。専門は化学で、光エネルギー変換用の半導体合成に取り組んでいます。趣味は写真で、昨年と一昨年には図書館で「岐阜大学の四季」という写真展を開催させていただきました。仕事では電子顕微鏡による原子観察、自宅では望遠鏡で宇宙に思いを馳せています。夜景を撮るのも大好きです。どうぞよろしくお願いいたします。

2020年度 雪景色



左の写真

2020年12月17日

応用生物科学部前の橋から
全学共通教育棟を望む

前日に降った雪の白さが、
まだ残っていた紅葉を
より鮮やかにみせていました。

右の写真

2021年1月8日

雪の中池と工学部

雪が青空に映えて輝いてました。
朝、バス停から工学部に向かいながら、
iPhoneで雪景色を満喫しました。



📷 撮影・記事：中央執行委員 杉浦